

開講学科	システム生体工学科	前橋工科大学 シラバス			
科目名	実用化技術Ⅰ	標準対象年次	選択/必修	科目コード	
		3年次	選択	16004701	
担当教員	大高和裕	単位数	学期	曜日	時限
		2単位	前期	金曜日	4時限
授業の教育目的・目標	社会人基礎力の序論を学習し、且つ技術経営論(MOT論)のベーシックレベル(前半パート)を学ぶことで、自己のキャリアに夢を抱ける工科系大学生(未来技術者)を育成します。				
学科の学習・教育目標との関係	「ビジネス界における技術の意義」と「技術者の活躍」を検討し、将来踏み込むビジネス社会での自己の立ち位置を早い段階で理解できます。学習する過程で、「ロジカルシンキング」、「プレゼンテーション」、さらに「コミュニケーション」の基礎を身につけることで、「社会人基礎力の醸成」、「問題解決能力」、「国内外の経済動向」、「就職戦線」の論理的な理解に役立たせます。				
キーワード	① 社会人基礎力 ② 問題解決能力 ③ 就業力 ④ 就職力 ⑤ 技術経営(MOT: Management of Technology)				
授業の概要	我が国の産業界では、研究開発や応用技術開発に携わる技術陣が今日まで独立した部門領域において、企業戦略とは一線を画していたのに反し、欧米ではビジネス戦略の重要な要素として技術経営(MOT)の考え方を醸成していたことにより、ビジネスの展開で大きな開きを生じております。本講義では、そのベーシック領域に触れて「ビジネス活動の実例」を知る中で、工科系大学生としての論理的思考力と表現力を習得し、社会人基礎力として自ら踏み出す意欲を創造します。				
授業の計画	第1回: オリエンテーション、学習の期待効果に対する質疑 第2回: ロジカルシンキングの基礎 第3回: ロジカルシンキングの応用 第4回: 問題解決技法の基礎 第5回: 仕事の種類(Ⅰ) 第6回: 仕事の種類(Ⅱ) 第7回: 技術経営(MOT)の意義 ~ ビジネスリーダーへの道 ~ 第8回: 中間時点のまとめ、ゼミ学習中間成果発表 第9回: プレゼンテーションスキル演習 第10回: お金の基礎知識 第11回: 経済学と経営学の基礎知識 第12回: 会社のしくみの基礎知識 第13回: 新聞/テレビ/ネット/ビジネス誌などから就職活動の情報を得る技法 第14回: コミュニケーションスキルの基礎と応用 第15回: 全講義の総まとめ、学習成果発表、期末試験(期末レポート)準備				
受講条件・関連科目	予習を大切にします。「発言できる人材」を目指す学生殿はぜひ履修いただきたく。日頃から、国内外の政治経済のトレンドに興味を抱いていることを強く期待します。				
授業方法	①講義は毎週金曜日の4時限です。 ②MBA 大学院スタイルのディスカッションゼミ学習方式を採用入れます。 全員が「他の人の意見を傾聴して理解・編集したのちに発言するセンス」を身につけます。				
テキスト・参考書	講義要点シートとケース研究のシートは担当教員オリジナルのものを使用します。参考書として「一目でわかる会社のしくみ」(日本経済新聞社刊: 企業活動が分かり易く編集されていて且つ安価)を持っておられると講義の内容把握に役立ちます。				
成績評価	・期末試験(40%) ・課題レポート(3回: 30%) ・小テスト(やりません。0%) ・その他(講義における発言発表、ゼミ推進への貢献)(30%)				
履修上の注意	導入部分とその応用部分は授業で学習します。その間に位置する基本部分(核となる部分)は無理のない予習をお願いいたします。講義終了時に十分な理解ができる状態を目差すためです。インターンシップや就職活動にかなり役立つヒントが得られます。				
	メールでご意見やご質問に対応します。 大高HO [k-ohtaka@k09.itscom.net]				